

整形外科の外傷治療

ー現状と課題ー

企画・編集 尾崎敏文

序文	尾崎敏文	8
----	------	---

I. 外傷教育の現状と課題

日本骨折治療学会の取り組み	佐藤 徹	10
---------------	------	----

はじめに	10
骨折治療学会主催研修会	10
学会としての取り組み	12
終わりに	12

A0の取り組み	土田芳彦	13
---------	------	----

はじめに	13
A0の歴史	13
A0の教育活動	14
A0コースの特徴	14
A0のほかの教育手法	15
A0のlifelong-learning path	15
AOTrauma Japanの歴史と教育活動の現状	16
AOTrauma Japan教育活動の課題	16
終わりに	17

JABO/OTC Japanの取り組み	野々宮廣章	18
---------------------	-------	----

JABO/OTC Japanについて	18
JABO研修会について	18
Travelling Fellowshipについて	21
JABO/OTC Japan研修会の課題	21

岡山大学の取り組み	野田知之ほか	24
-----------	--------	----

はじめに	24
わが国の整形外科外傷教育の現状と問題点	24
岡山大学整形外科外傷グループの歴史とその特徴	25
われわれの取り組みと課題	25
今後の課題とまとめ	29

●編集顧問

田中清介 東 博彦 石井清一 松井宣夫
井上 一 立石博臣 高倉義典 龍順之助
進藤裕幸 松野丈夫 野原 裕 別府諸兄
筒井廣明 小宮節郎 加藤博之 齋藤知行
吉矢晋一

●編集主幹

帖佐悦男

●編集委員

山崎正志 田中康仁 岩堀裕介 内尾祐司
尾崎敏文 高平尚伸 岡崎 賢 國吉一樹

II. 外傷治療システム (外傷センター, レジストリー)の現状と課題

帝京大学医学部附属病院外傷センター ————— 黒住健人 32

はじめに	32
帝京大学医学部附属病院外傷センターの現状	32
大学初の外傷センター	33
3つのセンターが共存する意義	33
整形外科と救急科の間で仕事をする意義	34
手術室の現状	34
外傷センター施設基準	35
終わりに	36

長崎大学病院外傷センター ————— 宮本俊之 37

はじめに	37
センターの変化と現状	37
今後の課題	39
終わりに	39

札幌徳洲会病院整形外科外傷センター ————— 倉田佳明 40

はじめに	40
当センターの特徴	40
整形外科外傷センターの設立と変遷	40
センターの現状	41
今後の展望と課題	45

総合南東北病院外傷センターの現状と課題 ————— 加藤成隆ほか 46

はじめに	46
外傷センターの設立	46
外傷センターの成長	48
データベースの構築	48
脆弱性骨折ネットワーク(FFN)への取り組み	49
今後の課題	51
提言	51

レジストリー(DOTJ) 石井桂輔 52

DOTJ設立の背景	52
DOTJ参加施設	53
DOTJで収集しているデータ	53
DOTJのデータが示す整形外科外傷治療の現状	53
DOTJの今後	59
終わりに	60

III. 脆弱性骨折治療，二次骨折予防の現状と課題

骨粗鬆症性椎体骨折の治療 三原徳満ほか 62

はじめに	62
診断	62
治療	62
終わりに	66

大腿骨近位部骨折 重本顕史 67

はじめに	67
海外の現状：整形外科と老年病科の共同管理	67
早期手術	67
疼痛管理	68
せん妄の予防と治療	69
栄養管理	69
筆者らの施設での多職種が連携した取り組み	69
終わりに	71

上腕骨近位部骨折 寺田忠司 73

はじめに	73
保存治療	73
プレート固定法	73
髄内釘固定法	78
人工骨頭置換術，人工肩関節置換術	78
終わりに	80

橈骨遠位端骨折 安部幸雄 81

はじめに	81
手術法	81
合併症	84
症例提示	84
二次骨折の予防	87
終わりに	87

二次骨折予防の薬物治療 斎藤 充 90

はじめに	90
逐次療法の必要性	90
骨強度低下の機序	92
骨粗鬆症治療薬の使い分け	94
逐次療法を考えるうえで必要な薬剤の知識	95
終わりに	96

▶▶▶ IV. 手外傷，開放骨折，術後感染， 偽関節治療における現状と課題

手外科領域の外傷：手根骨以遠の骨折・腱損傷 善家雄吉ほか 98

はじめに	98
月状骨脱臼・月状骨周囲脱臼	98
腱の引き抜き損傷	103
手背部剥脱(デグロービング)損傷	106
終わりに	108

重症開放性骨折の現状と課題 前川尚宜 109

はじめに	109
重症開放骨折の分類	109
Gustilo分類Ⅲbに対する治療戦略：どの開放骨折でもfix and flapなのか？	111
重症開放骨折の治療体制の現状と課題	112
重症開放骨折治療の課題：コラボレーションでの対応は是か非か？	112
重症開放骨折治療における教育面での課題	115
真の重度四肢外傷治療とは？	116

骨接合後の感染，骨髓炎の治療 圓尾明弘 118

はじめに	118
FRIの治療の原則	118
慢性骨髓炎，感染性偽関節	119
抗菌薬全身投与	119
抗菌薬局所投与	119
症例	122
終わりに	124

偽関節治療における現状と課題 依光正則 126

はじめに	126
偽関節の要因	126
偽関節の診断	126
偽関節の種類	127
治療	129
今後の課題	132

非定型骨折

非定型「大腿骨」骨折とは	134
非定型大腿骨骨折の発症高位と力学的発症メカニズム	134
非定型大腿骨骨折の発症高位別特徴に基づいたサブタイプ分類	137
非定型大腿骨骨折は難治性骨折なのか？	138
非定型骨折の特徴を有するその他の骨折	139
疲労骨折とは	139
終わりに	139

病的骨折

病的骨折診療の現状	141
病的骨折診療の課題	142
外傷治療担当医の課題	143

骨折治癒促進を目指した、臨床へとつなげる基礎研究

はじめに	145
骨折治療は再生医療	145
骨折治療におけるDiamond Concept	145
骨折治療におけるbiomechanicsとbiology	146
炭酸ガス経皮吸収	146
CD34陽性細胞移植	147
BMP	149
終わりに	150

整形外科における人工知能

医学領域における人工知能	151
実際のAI開発の手順	151
整形外科領域におけるAI	154
AI研究と従来法との違い	154
AI≒深層学習の歴史	155
AI分野における共有文化の仕組み	156
AI研究を介した基礎AI研究と臨床AI研究の分離	156
AIの未来	157
AIの問題点	157

索引	159 ~ 161	バックナンバー・次号予告	166 ~ 167
学会案内・お知らせ	162 ~ 163	編集後記	168
投稿・執筆規定	165		